



# 同志社東京ジャーナル

DOSHISHA  
TOKYO  
JOURNAL

No.101

同志社フェア in 安中 地域交流イベント

2015年8月30日

於：新島学園礼拝堂



## INDEX

- 歴代東京支部長・東京校友会会長・事務局長・代表幹事・編集長 あの時
- 学校法人同志社大谷実総長、校友会井上礼之会長からのお祝いメッセージ
- 関東・甲信各県支部長からのメッセージ
- 直撃インタビュー！東京校友会と東京ジャーナルは  
いかにして作られたのか
- 東京校友会に関わる各団体からのメッセージ
- 企業内校友クラブ・年次会の方々からの  
メッセージ&アンケート
- 「幻の春の集い」と3・11 東日本大震災
- 同志社と東京校友会のあゆみ
- 同志社東京ニュース・東京ジャーナル 100 号のあゆみ
- 校友紹介・校友訪問
- 企業内校友クラブ（クローバー会）
- 懇親会と春の集い
- 同志社フェア in 安中 レポート

永久保存版

創刊 100 号突破記念特大号

表紙写真

同志社創立140周年記念～新島裏ゆかりの地～

同志社フェア in 安中

同志社グリークラブと新島学園聖歌隊のジョイントコンサート

関連記事：24 ページ

同志社東京校友会





参加者が600名を超えた2015春の集い

## 創刊 100 号突破記念 特別寄稿

歴代

### 東京支部長・東京校友会会長・事務局長・代表幹事・編集長 創刊から100号までをつないでこられた歴代の

それまで懇親会のかたちであったのが実行委員会組織になって「同志社東京春の集い」と銘打つての行事となりました。それが第一回とされ、本年平成27年の「春の集い」は数えて第17回となり参加者も600名を超え、神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木・山梨・群馬そして長野と、まさに関東・甲信あがての東京校友会最大のイベントになっています。その進展ぶりまことに同慶のいたりです。基本問題検討委員会なるものにて東京支部のあるべき形等の議論が重ねられ、答申案が精力的にとりまとめられたと承知しています。

そもそも校友会というものは、母校同志社という心のふるさと、学びのふるさとを同じくするもの同士、その「縁」とか「出会い」を大切に、親睦を深め、友好の輪を広げるものです。一方、その母校の歴史と伝統を追慕しつつ更なる発展を願うそういった社会、いわゆる共同社会（ゲマインシャフト）でしょう。

平成17年、任期満了に際し次期支部長雲川俊夫新執行部へのバトンタッチの際、組織改革の答申案等、申し送りをさせていただきました。それをツールカーで受けとめていただき、新体

### 事務局長・代表幹事・編集長 方々に寄稿していただきました。

春の集い平成16年 / 左から、八田学長、野本理事長、大谷総長、秋田校友会会長、一番右が堀内支部長



# あの頃 その時



児玉正之  
東京校友会会長  
昭和45年法学部卒  
あいおいニッセイ同和  
損害保険株式会社  
特別顧問

## 「同志社東京ジャーナル」は校友の絆

東京校友会会長 児玉正之

東京ニュースから東京ジャーナルに名称は変わりましたが、我々東京校友会の活動・歴史が語り継がれ、記念すべき節目の一〇〇号を突破しました。

これまで発行にご尽力・ご協力賜った諸先輩、現編集担当各位、また多くの記事や寄稿にご協力頂いた多くの校友の皆様、感謝と御礼を申し上げます。

一〇〇号到達には二十五年間を要したわけで、文字通り継続

## 東京支部から東京校友会へ

元東京支部長 堀内陽二

同志社との出会いは、昭和26年大学入学に始まり、今日（平成27年）まで65年間「縁」が続いています。昭和30年卒業後は、名簿上は校友会の会員ではありましたが、あまり関心はありませんでした。

仕事の関係で、東京に住んで

堀内陽二  
元支部長  
昭和30年経済学部卒  
平成14年～17年支部長

おりました。校友会東京支部の運営にかかわったのは、徳弘勢也東京支部長の時代に、理事の一人として活動に加わったのが最初であったと思います。続いて太田文雄支部長時代、そして西村四郎支部長と続いていたのであります。小生その時副支部長の一人でありましたが、西村支部長ご退任に際し、次期東京支部長の推挙を受け、平成14年就任いたしました。

この度、平成2年の同志社東京ニュース創刊以来通算100

来ました。本号が若い校友を含め東京地区の校友の「輪」の広がり、関東でのプレゼンス高揚の一助になる事を期待します。

今後、様々な事にチャレンジ致して参りますので、是非とも皆様の「一層のご協力」をお願い致します。

節目の時に会長を務めさせて頂く幸運に感謝するとともに、同志社設立の旨意にある「二国の良心とも謂う人々」でありたいと思います。

号が達成され、次の101号で「100号突破記念誌」が永久保存版で企画されて、感想文等の執筆依頼を受け光栄ではあります。その東京ニュース創刊時の、初代編集長が西村大先輩であったとお聞きし、不思議な縁を感じます。

同志社校友会東京支部（同志社東京校友会）の長い歴史の中（その設立は明治時代にさかのぼるそうですが）、太田支部長（平成8年～平成10年）の時、

## 同志社は自由が良く似合う…。 日本で最も自由な大学の1校といっても異論はないだろう

制による幹事会で議題にとり上げられて東京校友会誕生につながったと思っています。お陰様でスムーズな交代を終えることが出来、やっと重い重い肩の荷が下りたと当時を思い出し、今は感謝の気持ちでいっぱいです。



志渡浩志  
元編集長  
昭和45年法学部卒  
平成11年～19年  
東京ニュース編集長

同志社は自由が良く似合う…。何故、自由が似合うのか。それは恐らく、人材が多彩であることと無関係ではない。自由だから多彩なのか、多彩だから自由なのかは措くとして、日本で最も自由な大学の1校と言っても異論はないだろう。

同志社東京ニュースの編集に

携わったのは、二十世紀末華やかなりし頃だった。以来、幾多の同志社人に会い、名刺の数も数えきれないほどになっている。

「校友訪問」と題した目玉記事にも多くの校友に登場いただいた。今を時めく佐藤優氏、中村うさぎ氏、小川和久氏、魚谷雅彦氏、福山哲郎氏など。東京ニュースに出ると、「名前が売れる」という実（まじ）やかな噂が広まったのは面映ゆい限りであった。

この校友訪問の取材で最も印象に残っているのは映画監督の故黒木和夫氏であらうか。傑作と評判の高い『父と暮らせば』を封切ったばかりの頃、インタビューは神田神保町の岩波ホールで行われた。奇しくも



故 黒木和夫監督

## 元編集長 渡邊浩志

専攻（政治学科）もゼミ（岡本清「ゼミ」）も同じだったこともあり、話が弾んだ。政治談議にもなり、「今や戦前と言われているが、どう思われますか」と尋ねると、「いや、既に戦中でしょう」との答えが返り、その慧眼に驚いた次第だった。時代が喧しく、風雲急を告げる昨今、黒木監督の言葉は過ぎるほどに重い。

同志社東京ニュースの編集人時代は、春の集いとも軌を二にしていた。ここでも数多くの校友との出会いがあった。その春の集いを立ち上げた一員でもあったことは、思い返せば、このうえない幸せである。

岡本清一先生の墓は京都の鳴滝霊園にあり、墓碑には「自由」の文字が刻まれている。



## 春の集い以外にもあった多彩な活動 「貴重な体験」の思い出

平成12年1月～17年5月に事務局を担当。当時には春の集い以外に次のような活動もあった。

### ◆校友力士応援と朝稽古見学

土佐ノ海、大碓が活躍していて、年3回の東京場所千秋楽には所属の伊勢ノ海部屋の打ち上げパーティがあったが、1万円のチケットの割り当ての消化にいつも悩まされた。会員にお願いしても、「行ったことがあるので」と断られる。幸い二九会の方のご協力があった格



伊勢ノ海部屋訪問時 前列左端が小林事務局長

## 元事務局長 小林英彦

好はついていたが「土俵入りで校友力士が同志社の徽章入りの化粧廻しをして出ている。校友はもつと応援してほしい」との亡き先輩の言葉が忘れられない。

小林英彦  
元事務局長  
昭和 35 年法学部卒  
平成 12 年～17 年  
事務局長

平成15年春と16年秋に朝稽古見学会を行った。定員26名満杯の参加者が、江戸川区春江町の伊勢ノ海部屋に朝8時に集まり、迫力ある力士の稽古を見学。その後ちゃんこ料理をいただき懇親。これは校友力士が活躍していたからこそ行事で、参加者からは「貴重な経験」と好評であった。

◆国立競技場でラグビー応援  
当時、同志社ラグビーは強く、正月の大学選権で国立競技場へ進出。そこで校友会でも応援参加者を募り、ラグビー部OBの協力を得て入場券

## お祝いメッセージ 創刊 100 号突破



東京ジャーナルが発行100号を突破されましたこと、心からお慶び申し上げます。継続的な校友への情報発信に対し、厚く御礼を申し上げます。同時に、児玉支部長はじめ、役員の皆様、会員の皆様のご尽力に対し深く敬意を表します。

平素は、学校法人同志社に対し、物心両面にわたる様々なご支援・ご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。今後、同志社をさらに魅力ある学園とするためには、ソフト面の強化にパラダイムをシフトすることが総長として大切であると考えています。

すなわち、良心教育を「同志社ブランド」として「層鮮明に打ち出し、社会にアピールすることが重要であります。東京

校友会の皆様は、お一人お一人が良心教育を受けた「同志社ブランド」の賜物であります。「仰いで天に愧ず、俯して地に愧ない」良心の全身に充滿した人物として、各地各界でのご活躍を最大限お願いするとともに、首都圏での情報発信の強化は同志社の課題の一つでありますので、是非、東京校友会の皆様お一人お一人からも社会に対して、「同志社ブランド」の強くそして恒常的なアピールをお願いする次第であります。

結びにあたり、東京校友会の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りしますとともに、学校法人同志社の更なる発展のために、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 学校法人同志社総長 大谷 實

首都圏での情報発信の強化を担う「東京ジャーナル」  
「仰いで天に愧ず、俯して地に愧ない」  
の精神でさらなる発展を

を確保。平成16年は100名近く、17年は180名の校友が中央スタンドに陣取り、応援の校旗を振ったが、兩年とも早稲田に惜敗。帰途の残念会で後輩の健闘を讃え合った。

## 「基本問題委員会答申書」作成の思い出 ここに東京校友会の基礎がある

### 元代表幹事 結城哲彦

平成17年1月から平成18年12月までの二年間は雲川俊夫支部長のもと、また、平成19年1月から平成22年12月までの四年間は木村昌平支部長のもとで、代表幹事を務めさせて頂

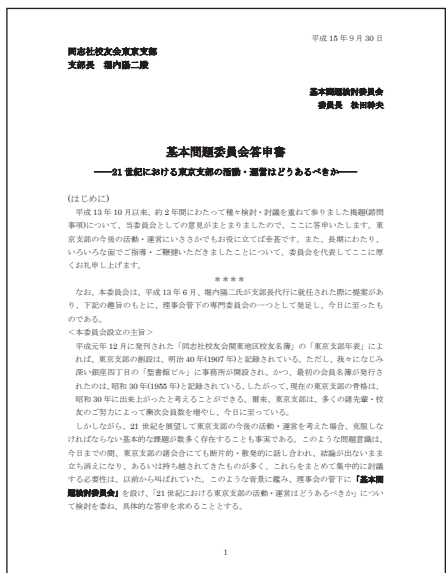


結城哲彦  
元代表幹事  
昭和 33 年法学部卒  
平成 17 年～22 年  
代表幹事

春の集い実行委員が主になつて、競技場での案内、入場券交付のほか、来場する多くの校友に「春の集い開催予告」チラシの配布も意欲的に行われていたのを、今懐かしく思う。

きました。平成27年の春の集いには600名をはるかに超える校友が集うほどに組織が固まりましたが、平成17年当時は300名を確保するのに四苦八苦していたことを思い出しますと、感激もひとしおです。

振り返りますと、平成15年9月末に、「二十一世紀における東京支部の活動・運営はどうあるべきか」という副題の付された「基本問題委員会答申書」が当時の理事会(堀内陽二支部長)に提出されています。紙幅の関係で、答申の詳細をご紹介できませんが「年次会



基本問題委員会答申書 (2003年)

を基本単位とした組織の整備」、「常任幹事制を軸にした執行体制」など、今日、当支部が実施していることの原点は、全てこの答申に盛り込まれています。そして、平成22年の春の集いから年次会による当番幹事制を本格導入できたことが、当支部の組織の強化を大きく前進させる力になっていると思います。私の在任中当時、一緒に汗をかいてくださった当時の方々に、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

最後に、右で述べた答申は、当支部の役割について、「東日本の社会において、『ここに同志社あり』をアピールでき、かつ実力・社会的評価などを含む総合力、この地域のライバル校と互角に競争できる同志社のイメージ作り寄与する」を目標としていました。

同志社東京校友会の皆様、並びに同志社東京ジャーナル発行にご尽力されておられます編集委員の皆様、このたびは100号突破のご発刊、誠におめでとございしました。一口に100号と申ししましても、毎号掲載されておられる充実した記事を拝見しながら、創刊時のご苦労や、発行を継続されたこれまでのご努力を想いますと、正に大勢の方の思いの結晶であったことは、想像に難しくありません。

東京校友会の歴史は大変古く、明治期にまで遡ると伺っております。また、長い歴史の中で東京校友会の活動も関東地区近隣支部との連携が進み各所で活発に展開されていると伺っております。そのような

中、100号を突破されたのは、ひとえに東京ジャーナルの前身、東京ニユースの創刊から今日までの皆様のご努力の積み重ねの賜物と思います。心から敬意を表したいと思えます。

私も発行されるたび、東京校友会の活発な活動を始め、本学の紹介記事から卒業生の活躍報告、歴史等、内容が大変親しみやく、楽しく読ませていただいております。

これからも益々充実した内容で号を重ねられ、同志社校友会、並びに本学の発展に寄与すると共に、卒業生の皆様の絆がより強化され、交流が活発になりますよう期待を込め、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



## 同志社校友会会長 井上礼之

毎号東京校友会の活発な活動、本学の紹介、卒業生の活躍報告、歴史等、など楽しく毎号拝読しています。

## 100号突破おめでとうございました



# 関東・甲信各県支部長からのメッセージ

東京校友会は、関東・甲信各県支部との密接な連携によって運営されています。その支部長から各支部の誕生秘話、活動スタンスと特徴、独自性、また東京校友会と東京ジャーナルへの意見・期待・要望などをお聞きしました。

## 茨城県支部

設立から3年、近隣支部と協力しながら活動  
支部長／渡辺英雄(昭40年・工)

同志社校友会茨城県支部は、3年前、全国の支部の中で空白だった地域の山梨と茨城の支部の立ち上げということで同じ時期に設立され、やつと他の支部の仲間入りができました。

茨城県支部は活動出来ないままに年月が過ぎ内外の校友や京都、東京校友会から強い再開の希望が寄せられていました。まだ支部の活動実績は乏しく、東京校友会の力添えを頼りに、近隣支部と協力しながら活動を進



めて行きたいと考えています。同志社東京校友会の一層の活動強化、そして東京ジャーナルにより、同志社のプレゼンスの向上を計られることを楽しみにしています。同志社ジャーナルが新たな歴史を刻むことを期待し、当支部も東京校友会の発展に寄与していきたいと思います。

## 栃木県支部

2000号を目指して  
支部長／薄井篤昭(昭51年・商)

栃木県支部は、野本元理事長が宇都宮市内四條町教会出身(中高時代)であることからその同級生を中心に2001年再発

足し、本年15周年を迎えます。自主性とゆるやかな組織を当初からの基本としており、市民向けの「同志社フォーラム」を例年行事に、また県内進学高への定期訪問を通じて、同志社とのパイプの糸を少しずつ太くしていくことを目標としています。首都圏の最大拠点である東京校友会の役割は限りなく大きく



これからも全国の校友会のトップリーダーとして、またその広報誌として同志社東京ジャーナルの次なる200号に向け情報発信を大いに期待しております。

## 千葉県支部

地域の活動を基盤に愛される活動を  
支部長／神内憲昭(昭47年・商)

千葉県支部の活動の基本的方向性としては、会員間の親睦を強め、今後はさらに活動域を地域に広げ、千葉県での同志社の知名度アップに資することです。

支部活動としては、全体行事として総会・当日の講演会・懇親会を軸に、「千葉再発見の旅」の実施、サークル活動としてはゴルフ部・テニス部・美術観賞会・音楽観賞会・会員の創作による芸術作品展の開催などの活動をしております。



東京校友会への要望としては、首都圏の近県に住んでいまして、勤め先は東京という方が多く、また、地理的にもハブの中心でもあります。関東甲信ブロックを引き続きけん引願えればと存じます。

## 埼玉県支部

総会出席者を100名まで増やしたい  
支部長／日向野愛子(昭47年・文)

東京校友会は、関東一円の「要」です。埼玉県支部の一番の活動は、年一回の総会です。新会員を増やし、総会出席者を100名まで増やすのが、最大の目標です。これからは、年に二度を目途に、若手会員と会員の家族と一般の方々にも参加して頂けるような「同志社らしい」イベントを企画実行していけたらと思います。

東京校友会は、関東一円の同志社支部の「要」です。同時に関東在住者・勤務する卒業生に大きな影響力を持っています。近隣支部の一員として東京校友会を中心にお互いに支え合い、協力し合って同志社校友会そのものを大きくし、発展させて行くことが大切だと思います。



## 群馬県支部

目指すは  
二寸楽しく、少し頼りになって、そつと大切にしたい  
支部長／中山健介(昭40年・工)

群馬県支部は、新島襄ゆかりの地において校友会活動をしています。ご縁が有り、この地域と周辺に在住する校友達が、折に触れて集まり、様々な行事を企画し、実行しています。

「二寸楽しく、少し頼りになって、そつと大切にしたい」との活動方針を掲げて、今年で30年を迎えました。今日までの会員のご理解とご協力に、深く感謝を致しております。



また「同志社フェアin安中」は、延べ千名を超える盛大なイベントとなりました。ご協力に厚く御礼申し上げます。東京ジャーナルは、今後とも関東甲信地区の広報誌として益々、その価値を高めて下さい。

## 長野県支部

若手会員の増加への挑戦  
支部長／内山洋(昭47年・文)

諸先輩の母校愛に満ちたご意志を受け、四半世紀の間脈々と継続された取り組みに、大いなる敬意を表すものでございます。

長野県は地形的に四つの平に分断されて交通の便も悪く、支部全体の活動は難しい環境にあります。それでも年一度行われるラクビー伊那大会では、支部として現役学生を支援しながら同時に会員の交流も促進しています。他には長野と松本を中心に暑気払いや新年会等を通して相互の理解を深めてい



ますが、なかなか若手会員の増加に繋がらず苦戦をしています。今後は東京ジャーナルで発信される東京支部の皆様の日頃からの熱心な活動を参考に、地方の支部としての取り組みも進めて参りたいと考えております。

## 神奈川県支部

若手の支部活動参加推進と地域交流拡大事業の展開  
支部活動の活性化と母校知名度向上のために継続実施中  
支部長／竹村慶三(昭45年・法)

神奈川県支部では、若手中心に新島襄ゆかりの地訪問。昨年は大磯、今年は横浜港巡りを実施。延べ42名が参加。内3名が新幹事として活躍中です。

また当支部には、裏ゆかりの終焉の地大磯と、帰港の地横浜があります。地域交流事業として、今年は裏が愛でたカタルバの苗木を1月に二宮徳富蘇峰館、4月に大磯町運動公園に植樹寄贈。来年は終焉の地碑前祭後に地域交流講演会&コンサートを開催予定です。他に総会・懇親会、二つの歩こう会を展開しています。



## 山梨県支部

設立三年、同窓会との協力でより充実した活動を目指す  
支部長／櫻井 彪(昭40年・工)

山梨県支部も設立後三年目に入り、会員数も現在80名をこえました。また、同窓会とも協働して運営しています。

支部では総会の他、春、秋の集い、夏の暑気払いを開催します。これらは16名の役員の話し合いにより進めており、広い世代の方が楽しめるように努めたいと思っています。また、今年の総会では一般市民参加型講演会を企画し、浜矩子先生に来ていただきます。

このように支部として歩んでいるのも東京校友会の皆様のご協力やアドバイスのお陰と、深く感謝しております。これからもよろしくお願いたします。



通販化粧品・健康食品売上

No.1

DHCが開発した『薬用Qシリーズ』は、薬用成分と10倍濃度<sup>※2</sup>のコエンザイムQ10を配合したスキンケア。多くの肌に愛されて、売上個数1600万個<sup>※3</sup>を突破しました。これからもDHCは、日本最大級の通販化粧品・健康食品企業として、お客様が美しく輝く毎日を応援いたします。

株式会社DHC

〒106-8571 東京都港区南麻布2-7-1 代表取締役会長兼CEO 吉田嘉明(昭和40年 文学部英文科卒)

薬用Q<sup>®</sup>

10倍濃度のコエンザイムQ10

■薬用QはDHCの登録商標です。 ※1 2015年1月1日 日本流通産業新聞 通販・通販EC売上高ランキング ※2 当社比 ※3 2010年1月14日～2014年11月末までのシリーズ総販売個数 ※4 医薬部外品として

http://www.dhc.co.jp





東京ニュース創刊号



東京ニュース創刊号を手に  
西村四郎初代編集長・元支部長

出身は中京区室町で、同志社中学を昭和18年に卒業したんや。中学時代はヨット部で、中学の同窓生にはノーベル賞の江崎玲於奈博士がいてはった。それから、同志社予科に進んで、途中で生徒動員に行つて昭和20年9月に復員して来て、法経学部経済学科を、昭和23年に卒業したんや。

大学では茶道部に入つていて、大学に来客がある時々、大学が買収した冷泉家の茶室（現在の寒梅軒）に釜をかけ接待しま

## 同志社中学から同志社大学へ

同志社の学生時代は応援団長として、世を風靡された小出さん。定年後は大好きな同志社大学のために、学校法人同志社の東京分室室長、東京支部の専務理事、副支部長、顧問を歴任され、校友会東京支部の礎を築くために長年にわたり、大いに尽力されました。

現在96歳ですが、インタビューに對する答えもしつかりされ、頭脳明晰、生活面でも自分のことは何でも一人でおやりになるという元氣さで、質問に答えていただきました。

同志社に入学するまでは、お金持ちのぼんぼんが行く軟派な学校という印象しかなかったのですが、入学してみると、同志社の自由な空気と、チャペルの美しいステンドグラスに魅せられて、同志社が二遍に好きになつてしまいました。そこからはもう、同志社一筋！

同志社予科2年生の時に、応援団に入りました。応援団に入ると、もう、心底、同志社のためなら何でもやる気持ちになり、本当の「同志社バカ」になりました。当時は精神一色、すべて同志社でした。昭和17年

## 東京ニュースを創刊し 東京支部の発展に尽力 西村四郎元支部長



東京ニュースから数えて、東京ジャーナルが100号突破を迎えました。それを機に初代編集長の西村さんを訪ねて、いろいろ当時の苦勞を思い出していただきました。

今年、90歳になられて東京校友会の副会長はご勇退されましたが、編集長から支部長、副会長と東京校友会のために長年にわたりご尽力いただきました。いっお会いしてもお声も大きくお元氣ですが、今回も変わらない関西弁で元氣いっぱい楽しく貴重なお話をたくさん聞かせて頂きました。

## 東京支部との出会い

大学を卒業してから「さくらクレパス」に入社して、昭和35年から東京にやつて来たんや。その当時はまだ東京支部はこじんまりとして、あるにはあったという感じやったで。しばらくして、同志社100周年の昭和50年、津下支部長の時に、新橋のホテルで懇親会をやったのが、大々的に懇親会をやろうになった最初ではないかと思うで。

## 東京ニュースを創刊

東京ニュースの創刊については、校友会をやるようになってから、機関紙と会費徴収は絶対にやらなあかんはずって考えていたな。東京ニュースの準備委員会を立ち上げて2年後、平成2年に東京ニュースが創刊できた時は編集長として長年の夢が叶つてうれしかったな。

新聞代金は二百円と書いてあったが、最初はタダで配ってたんや。企業内に同志社の校友クラブのある35社に郵送で配布



ラグビー部3連覇の写真は、今でも部屋に飾っています

直撃インタビュー！

## 東京校友会と東京ジャーナルは、いかにして作られたのか

東京支部役員として東京校友会と東京ジャーナルの礎を築かれた偉大な先輩お二人に、その経緯や思い出などをお聞きました。

小出力三郎元副支部長

## 東京支部の礎を築く 小出力三郎元副支部長

同志社の学生時代は応援団長として、世を風靡された小出さん。定年後は大好きな同志社大学のために、学校法人同志社の東京分室室長、東京支部の専務理事、副支部長、顧問を歴任され、校友会東京支部の礎を築くために長年にわたり、大いに尽力されました。

現在96歳ですが、インタビューに對する答えもしつかりされ、頭脳明晰、生活面でも自分のことは何でも一人でおやりになるという元氣さで、質問に答えていただきました。

## 応援団で「同志社バカ」に

同志社に入学するまでは、お金持ちのぼんぼんが行く軟派な学校という印象しかなかったのですが、入学してみると、同志社の自由な空気と、チャペルの美しいステンドグラスに魅せられて、同志社が二遍に好きになつてしまいました。そこからはもう、同志社一筋！

同志社予科2年生の時に、応援団に入りました。応援団に入ると、もう、心底、同志社のためなら何でもやる気持ちになり、本当の「同志社バカ」になりました。当時は精神一色、すべて同志社でした。昭和17年

## 立命館との応援合戦

応援団での思い出は、昭和17年から、立命館大学との応援合戦を始めたことです。その応援合戦にむけて、まず新入部員が入ってくると、10日間チャペルの中で、応援歌、カレッジソングなどを教えます。熱血指導ですから、新人が逃げ出さないように、門には怖い先輩を見張りに立たせておりました。新人を徹底的に鍛えあげ、立命館との応援合戦に臨むのです。これが、同立戦の応援合戦の最初ではないかと思ひます。

当時から、私は硬派で強い熱血漢、しかもバカがつくほど同志社を愛しておりました。いい友達もたくさんできて、本当に良かったなあと思っております。

東京支部の専務理事に  
東映フライヤーズ球団を55歳で定年退職し、応援団の猿丸先輩の会社勤務していましたが、学校から同志社の仕事を手伝つてほしいと言われ、昭

和50年、56歳の時に銀座4丁目聖書館ビルにあった学校法人同志社東京分室の室長となり、校友会東京支部専務理事になりました。そこからは、さらに同志社のために一生懸命に尽力いたしました。

その当時の東京では、卒業生同士の仲間の集まりはありましたが、まだ組織だったものはなかったで、若い人ができるだけ寄つて来てくれて集うようにして、組織作りに努めました。当時はまだ、校友会はあまり活動してなくて、どちらかと言えば樹徳会の方が活発でした。

## 帝国ホテルで合同懇親会

昭和51年に同窓会との合同懇親会を帝国ホテルで開催するようにしたのも、懇親会を帝国ホテルでやれば、同志社の名前が上がるだろうという、ハッタリの気持ちがありました。懇親会には少なくとも200名以上の方が集まっていたで、東京において同志社の名前を大いに上げたと思ひます。

また、各年次の同窓会を活発にするようになったのも、あの時代からだつたと思ひます。合同懇親会も当番制にして各年次会が受け持つようになりました。大磯町の終焉の地碑前祭も津下支部長の時に町長に挨拶に行き、交渉して執り行うようになりました。当時始めました碑

前祭が、今でも継続していることに心より感謝いたします。

ラグビー部の大学選手権3連覇

校友会の仕事をしていて、一番楽しかったのは、昭和60年のラグビー部大学選手権3連覇です。元応援団ということで、ラグビーの試合に行きましても、みんなが私を立ててくれました。当時はスパスパ煙草を吸っていたのですが、3連覇のためにはと大決心をして、大好きな煙草を絶つて勝利を祈願いたしました。祈願して臨んだ国立競技場は沸きに沸き、同志社ラグビー部が3連覇の偉業を達成した時の大歓声は今も忘れません。

こうして、昔の資料に目を通しますと、いろんな所に私の名前が出ていることは、皆様が当時の活動を認めてくれていたことだと大変に嬉しく思ひます。まだ二度も新しい事務所には行ったことはありません。春の集いも行きたいのですが、なかなか一人では出歩けませんので、家族に連れられて行つてもらうことも考えております。

いつもカラーの立派な印刷物で大変立派な文章で書かれた東京ジャーナルを送つていただきまして感謝しております。東京校友会がこれほど立派になった。それに努力して下さる皆様に感謝するとともに、ますますのご発展を祈つております。

学士会館の生誕の地碑前祭は、わしが支部長の時に東京支部として始めたものを後になつて主催を同志社に譲つたんや。その後は副会長をやらしてもうたが、東京支部は関東をまとめる関東支部長会議などをやつていたので、東京校友会という通称名を使いたしたんや。わしは以前から、関東全体をまとめる東京校友会を作らなあかんと思うとつたで。京都の校友会の意向は一県一支部制やったから、3年かかって平成21年によく正式に「東京校友会」を認めてもらうたという訳や。

## 東京支部長として数々の成果

東京ジャーナル100号突破については、当時の苦勞を思うたら、感慨深いもんがあるが、そりやもう、これからはもうずっと続けて行つてもらわなあかん。今も年4回の発行かいな。それを年6回、2か月に1回の発行に増やしてもらいたいわな。ページを増やすなら、回数をふやした方がええと思うで。

東京校友会にも毎月、何らかの例会みたいのをやつて欲しいもんやな。もつと頻繁にたくさんの方が集える機会を多くして益々、発展するようにして欲しいと思うています。

インタビュー・写真

／新田博伸(昭52年法)  
文責／作村満明(昭52年・法)





文責／関東スポーツユニオン代表  
村口和夫(昭47年・法)

## スポーツユニオン

日本でさらに世界で通用する人材をどんどん輩出していきたい

関東同志社スポーツユニオンは立ち上げより10年以上経過しましたが当初よりOB・OGの懇親、試合で上京した各部への応援等のサポートを行っています。スポーツ庁も設立された東京オリンピックも控え、益々盛り上がるスポーツ界ですが同志社スポーツにおいても日本でさらに世界で通用する人材をどんどん輩出していきたくと考えています。関西の情報が圧倒的に不足している東京におきまして現役の日々の活躍を東京ジャーナルにて今後も発信していただき、校友の皆様と喜びを分かち合いながら一丸となり同志社の発展に寄与していただけることを祈念しています。

## 同窓会東京支部



会員同志の心の触れ合いの場に務めて

同窓会東京支部は、本部設立の4年後、牛込市ヶ谷ミス・デントン邸にて第1回東京支部会を開催、2017年4月22日には、百二十周年を迎えます。  
新島精神の基に育まれ、同じ学び舎を巣立った私達は、校友会と共に母校のため、数々の催しに参加出来る事を喜びとしております。同窓会独自の伝統を重んじ、姿勢を守りつつ、明治30年よりの総会、平成3年より「讃美歌を楽しむ会」をスタートし、会員同志の心の触れ合いの場に務めて参りました。  
内容が二目で理解出来て、その上美しい写真の東京ジャーナルの表紙に心を込めて編集に当たられていた多様性に富んだ皆様に賛辞を送らせて頂きます。  
文責／同窓会東京支部長  
加藤聖子(昭28年・女子高)

## 樹徳会

樹徳会東京支部の近況

商学部OB会・樹徳会東京支部は近年休眠状態でしたが、2012年に再スタート。再開1年目参加者87名。2年目112名。3年目の昨年は123名と年々増加。今秋、11月22日の支部総会は150名を目指して準備中。首都圏の住所判明の商学部OB・1600名に声掛け中で徐々に参加者も増えています。

通信費等のコストもあり、学部単独では、告知もまだまだ不十分ですので、東京校友会ネットワーク(ホームページ)や東京ジャーナルを活用、開催をアピールさせて頂き、参加者増につながればと思います。ひいては東京校友会の会員増加の一助になればと思います。  
文責／金屋憲二郎(昭45年・商)



## 同経会

東京校友会と同経会

同経会の東京のつどいは2002年に第1回がスタート、最初の講師は黒田東彦現日本銀行総裁でした(当時は財務省財務官)。それ以降、同志社大学の教授や実業界、大学OBの方などに講師をお願いしてきており、今年第14回で、元日本銀行総裁の福井俊彦氏の講演です。演題は「わが国にとつてもう待たないの基本問題とは」で、同経会以外の方も、関心のあるテーマと思われまふので、東京校友会の皆様のご参加、大いに歓迎いたします。

ここ数年、講演後の懇親会での挨拶、乾杯ご発声は、東京校友会の児玉正之会長にお願いして、東京校友会との連携も深まっています。  
文責／高橋健治(昭44年・経)



## 政法会

東京校友会は学部を超えた交流の場の提供を

ビジネスを含む社会での活動において、学縁の重要性を経験された人は少なくないと思われる。しかし、われわれの政法会は、法学部の出身者のみで構成されている「縦の組織」であり、同志社人の幅広い交流にはおのずから限界がある。

これに比して、東京校友会が長年にわたつて進めてこられた「春の集い」は、学部を超えた同志社人の交流の場であり、関東地区に在住する者にとつては、年に一度、同志社人に戻る唯一の機会である。政法会としては、東京校友会のさらなる発展を希求し、これに協力を惜しまない心算である。継続はまさに力である。東京ジャーナル百号突破を心からお祝い申し上げる。  
文責／東京支部長 結城哲彦(昭33年・法)



無料法律・税務・登記相談会

## ESS東京OB会

幅広い世代の交流

毎年同志社東京「春の集い」の参加者約600名の二割がESSのOBです。またESS東京OB会の会員400余名のうち、2割が年一回のOB会に出席し20歳代から80歳代にまたがる卒業生が交流します。昭和40年代には千数百名だったESS部員数は、現在は100名強で少数精鋭です。ディベイト・ディスカッション・スピーチ・カンバセーション・グループの5つのユニットが活躍し様々の大会で優秀な成績を上げ同志社の名をどろかせていることは嬉しい限りです。

東京オリンピックの年には創部100年を迎えます。  
文責／近藤義彦(昭44年・経)



## 東京クロバークラブ

ネットを通じて速報性のある情報を求む

同志社の校門入口には新島先生の碑が、東京校友会入口正面には新島先生の写真がある。ここを訪ねる度に校租の教えを想い出す。残念ながら春の集い等壇上で挨拶される方々は新島先生を語られるが会場には新島先生の写真一枚もない。何か欲しい。また、多くの校友が新島先生を「新島」と呼び捨てにするが、理解出来ない。

東京クロバークラブ等のOB団体等は「同志社」を冠にして色々とところで活動している。校友会はそれらの情報を収集し、ネットを通じて速報性のある情報をメールで校友会に流してほしい。これらが常態化すれば校友会と諸団体の関係が深まり校友とも更に近い関係になる。  
文責／吉田正彦(昭41年・法)



東西四大学OB合唱連盟演奏会

家族葬から社葬・お別れの会まで、信頼の葬祭ブランド「公益社」におまかせください。



まずはお電話を。公益社 ご葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ  
☎0120-347-556

http://www.koekisha.co.jp

通話料無料・携帯電話可

首都圏ネットワーク(自社会館・営業所)  
◆東京本社(港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F)  
会館  
●公益社 用賀会館 ●公益社 高円寺会館  
●公益社 明大前会館 ●公益社 仙川会館  
●公益社 田園調布会館 ●公益社 雪谷会館  
●公益社 高輪会館 ●公益社 社会館 たまプラザ  
営業所  
■青山ご葬儀相談室 ■日吉営業所 ■鶴見営業所  
※上記を中心に300ヶ所以上の葬儀場がご利用になれます。  
対応地域  
首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)  
近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

燦ホールディングス(株) 取締役相談役 播島 幹長 (昭和33年 経済学部卒業) 株式会社 法人営業推進部 部長 小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)





## SOMPO ホールディングス

- ①「損保ジャパン日本興亜クローバー会」把握出来ている全国の会員数は109名。名簿は更新中で、さらに増える見込みです。
- ②本会を通じて、幅広い年齢層の卒業生が、社内の人脈構築の場を持つことが出来るようにしたいと考え設立。活動は、6月に新入社員歓迎会と12月に情報交換会を毎年開催しています。



- ③クローバー会は、毎年東京で開催していますが、人事異動が多く、さらに全国展開のため、全員の参加が難しいことと、名簿は随時更新していますが、その整理と集約に苦慮しています。
- ④クローバー会は年齢、役職、部門を超えて情報交換が出来るため、社内の人脈構築に非常に有益です。さらに、同窓の集いということで、昔を懐かしみながらも、会社生活を初心に戻って「頑張ろう」という気持ちになれることです。

文責／倉本久司(平2年・商)



## 住友生命東京同泉会

住友生命は創業から100年の時を超えて「住友」の信頼と「お客さまの人生を守る」という使命感をもって、歩み続けています。

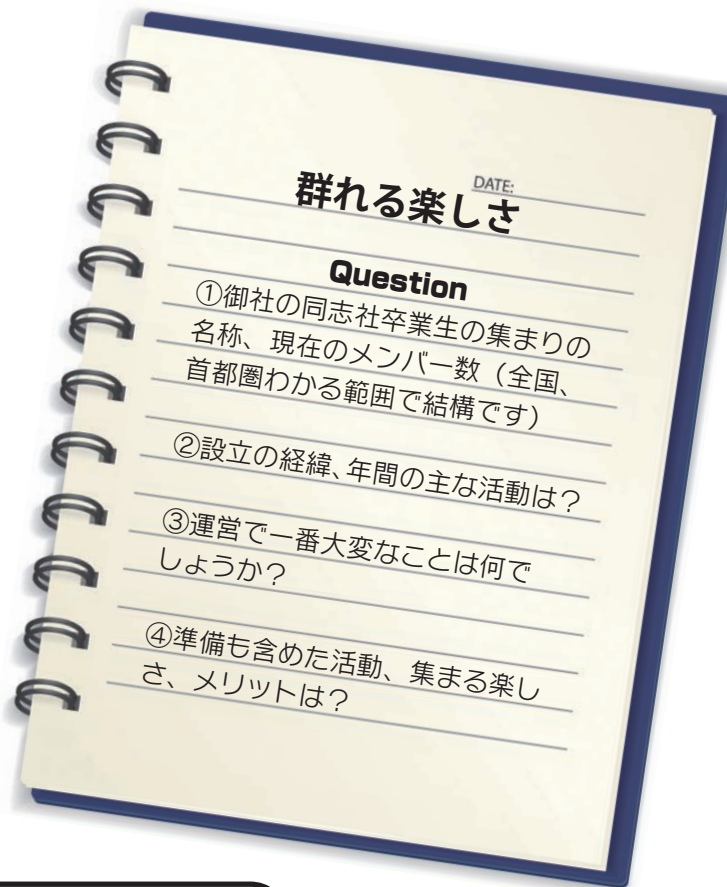
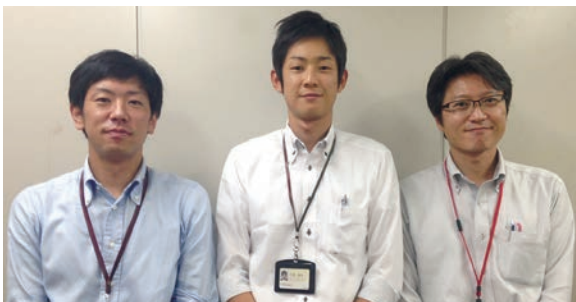
住友生命では、同志社出身で大阪・東京近郊に勤務している職員を中心にそれぞれ「同泉会」、「東京同泉会」を年に1度開催しています。幹事は伝統的に入社4～5年目の職員が担当し、会を運営しています。今年の「東京同泉会」は7月に我が同志社の先輩が経営される、銀座がんこ寿司で開催され、総勢40名の入社1日目若手から大先輩まで幅広い年齢層の皆様に参加いただきました。参加メンバーの所属部署もリテール部門からシステム、運用部門と多岐に亘り、懇親の場のみならず、仕事における情報交換の場にもなっており、「同志社」という繋がりがきっかけで、社内での連携強化や人脈構築に役立っています。

また毎年7月、4月に入社した同志社卒の新人諸君が3ヶ月間の本社研修を終え、全国の住友生命の「支社」へ配属される時期となります。新人にとっては初めての配属を控え、不安で緊張している中ではありますが、会を通じて先輩方からあたたかいアドバイスをいただくことで、激励されてから支社へ配属されることが毎年の恒例となっています。

1年に1度という機会ではありますが、毎年、会が終わると「同志社卒業で良かった」という誇らしい気持ちになります。今後もこの同泉会は、「同志社人」としての自覚と誇りを胸に、生命保険業界での活躍を誓い合う場として発展させていきたいと思っています。

文責／石黒慎也(平23年・商)

東京同泉会幹事の皆さん  
左から辻久周さん、  
石黒慎也さん、原口耕治さん



企業内校友クラブは、どんな活動をされているのでしょうか？ 集まる楽しさや運営の工夫などを聞いてみました。

# メッセージ&アンケートをご紹介

## 企業内校友クラブからの



## あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

- ①あいおいニッセイ同和クローバー会。会員数首都圏140名、関西圏約100名、他地域約110名計350名。
- ②2010年会社の合併・新会社スタートに際し、社員間の色々な繋がりを持つことが大切と、発起人が集まり東京で結成しました。その後関西、中部に地域幹事団を組織して、それぞれのエリアで年に1回の総会・懇親会、毎年4月に新入同窓生の歓迎会、幹事会を年に2～3回開催しています。
- ③まずは連絡網と名簿管理等会員情報のメンテ。第二に、会社生活においては職場以外の縁を広げていくことが公私ともにプラスになると思いますが、それを若手に伝え、感じてもらえる企画・活動が不十分。洛紫会セミナーや大名刺交換会など現役世代にアピールできる東京校友会のイベントも活用し充実を図りたいと思います。
- ④毎回総会時に参加者のプロフィールやコメントを載せた参加者名簿を配布しています。すでに5回開催しているので、あちこちで同窓生相互の繋がりができ、公私ともにプラスになっています。

文責／片岡豊司(昭50年・経)



## 全国農業協同組合連合会(JA 全農)

- ①全農同志社会という名称で、首都圏を中心に20名程度が参加しています。
- ②4年前、同志社OBの若手が開いた数名程度の飲み会がきっかけです。主な活動は不定期に行われる飲みニケーションです。徐々に参加者が増え、今では新人から管理職まで幅広い世代で親睦を深めています。
- ③日程調整に苦労しています。参加者は様々な部署や勤務地にいるため、忙しい時期やスケジュール感は様々です。そのため、メールを使って出来る限り大勢の方に参加していただけるよう調整しています。また、新入職員だった頃は、緊張しながら大先輩方に懇親会の案内メールを送信したのを覚えています。
- ④話題は、やはり学生時代の思い出話。様々な世代の方が参加していますので、京都や同志社の昔と今の違いを発見できるのが面白さの一つです。また、部署が異なれば別会社といっても過言では無いほど、全農には多様な仕事があります。普段は知ることの少ない他業務の話聞くことができるため、刺激になります。

文責／大田悠司(平23年・法)



## 株式会社日立製作所

- ①関東エリア在勤OB・OG約350名。  
(現在日立製作所には国内外で約400名のOB・OGが在籍しています)
- ②以前からエリアごとで小規模な同窓会を開催していたのですが、2012年当時の幹部ご発案により関東エリア在勤者を対象とした「第1回日立クローバー会」を開催しました。常設の同窓会組織ではありませんが、これまで2012年11月(109名参加)と2015年2月(67名参加)に開催しております。
- ③名簿管理には最大限の注意を払っています。また対象者が多く所属・勤務地も様々である為、会場探しや集客なども大変です。
- ④出席された皆さんが「出席して良かった!」と仰って下さることが最大の喜びです。また準備期間中に幹事団が何度も顔を合わせることで結束が深まり、今では仕事の関係を超えた繋がりが生まれています。

文責／川上晋(平12年・文)







2011年秋、被災地への義援金を日赤に渡す児玉会長(中)と片桐さん(左)

「日時と会場(ロイヤルパークホテル)」

## 『幻の春の集い』と3・11東日本大震災

### あの日のことを決して忘れない 苦渋の判断に至るまで

「幻の実行委員長」片桐陽さんに聞く

東京校友会最大のイベントは「春の集い」ですが、それが中止になった年があります。3・11東日本大震災があったあの年のこと。その「幻の春の集い」を担当し、「幻の実行委員長」となった片桐陽さん(昭和42年・上)に、未曾有の体験を語っていただきました。

#### その日が幹事会&評議員会で

2011年の「春の集い」は私たち42年卒が実行委員会を担当、年次会会長の私が実行委員長というところで10年秋にスタートしました。

その頃は前年からの引き継ぎなどはなし。でも、同期で常任幹事を長く務めていた志村君が、先輩方のやってこられたことを

きれいに整理して、「広告・献品グループ」とか「ガイドブック編集グループ」とか作業チームの編成をリードしてくれました。もちろん、工程表も作成してくれて、私は大助かり。今も続いているこの基本的な仕組みは、私たちが始めたものと自負しています。

突然の、そして今までのない激しき、長さの揺れ。とうとう首都圏直下大地震か。覚悟を決めたところで揺れは収まったのですが、停電です。テレビから情報を得ることが出来なくなりました。そうした中、私の気がかりはその夜の会議。横浜在住の私は、東京への交通手段を求めて上大岡駅までは何とか行けたのですが、やはり全面運休。そしてその駅上のヨドバシカメラの店頭のテレビで初めて東北の被害と大地震、大津波の実態を知りました。街の中を大型漁船が流れていき、走行中の車を大津波が襲う...

また、中止を断言してくれた志村君は、それだけでなく、素晴らしい提案もしてくれました。「中止にする代わりに、開催したと思つて被災者に義援金を出したら

#### 425万5千円の義援金

こうして始まった義援金募集活動は順調に推移し、結局474人の校友から「425万5千円」という金額が寄せられました。これは、平均すると「人当たり9千円弱で、ちょうど「春の集い」の参加費にあたる額。何とも不思議な感じがしましたし、その符合にある意味感動しました。ちなみに、年次会別というと、実行委員会担当だった我々42年卒が、同期の木村昌平前会長などの協力もあってトップの金額。面目を施しました。

被災学生への義援金は大学から話が来たのですが、これは混乱を避けるため次年度からの活動とし、「同志社クッキー」売り上げ金などを加えながら、2015年9月に無事終了。

2011年秋、次の年の実行委員長に、我々のテーマ、講師、活動の仕組みをそっくりそのまま譲り、その時点で私は完全に「幻の実行委員長」となったのでした。文責／谷村和典(昭和47年・文)

## 東京34年次会

**年次会誕生秘話** 10数年前同志社の先人から春の集いの賞品整理手伝いの要請を受けた。2〜3年で校友会の状況も大分解ってきた。その後校友会事務局小林さんより34会の立ち上げを要請された。丁度同期の高崎・榎本両氏から34会やりましょうとの声があがり、チャンスと思い二人と個別に会い、高崎さんは事務全般、榎本さんは経理、稗田は会の運営推進に努める。

**活動状況** 第一回は2005年18名でスタートし今年で10年になる。

**年次会の特徴** 34会では、春の花見や国内旅行を開催し20名前後が集まる。また34会の特徴だが、春の集いの前11時から総会を行い、15名から18名が揃う。将来は全員が80歳以上迄元気な高齢者になろうと意気込んでいる!

文責／稗田賢二(昭和34年・商)



## 東京50年次会

**年次会誕生秘話** 当会は、平成21年の春の集い開催の為50年卒に幹事と年次会発足を依頼された。数百名に手紙を出し10数名の賛同を得たのが開催直前の2月だった!

大イベント還暦会(一昨年)と「あれから(卒業後)40年パーティー」(本年)を開催した。同期にプロの音楽家も多くそのライブをはじめ、飲み会、旅行会、ゴルフ会等毎月のように集まっている。

**活動状況** 内・外部進学者から各々代表を出し、幹事を担当。各々の会もあり、大きな会では全員協力で集合。

**年次会の特徴** 楽しい事が大好きで、盛り沢山の遊びの提案と即決・即実行をモットーに万全の協力体制で、楽しんでいる。7年後の古希を祝う会にも全員参加出来る事だろう!

文責／片岡豊司(昭和50年・経)



## 年次会の方々からの メッセージ

東京34年次会、東京40会、東京50年会の方々からお聞きしました。

## 東京40会

**年次会誕生秘話** 還暦もとづくに過ぎた2004年5月「東京春の集い」会場にて校友会のシナリオ通り「学年同窓会準備会」に集まった11名の昭和40年卒業生をコアに東京40会が結成された。当初36名で始まったが10周年を迎えた昨年末90数名に達し、活発な年次会活動をこなしている。

**活動状況** 新年会、暑気払い、秋の総会、暮れのコンサート&忘年会、春・秋の親睦ゴルフコンペ、年数会で日本の原風景遺産巡り日帰り旅行、絵画展、写真展鑑賞等幅広くほぼ毎月会員が集まる。

**年次会の特徴** 当会は、太宰治賞作家、日展画家、日本山岳写真協会、油・水彩画家、プロ顔負けのシングルゴルファー、未だ現役の実業家等々実に多士済々のメンバーが集まり旧交を温めている。東京40会会長 佐上勝彦(昭和40年・文)





同志社と同志社東京校友会のあゆみ		
東京支部の設立は明治 30 年～同志社社史資料センターの史料調査で明らかに		
1875	明治 8	新島襄、官許同志社英学校（同志社大学の前身）開校（寺町通丸太町上ル松蔭町）
1876	9	今出川校地に移転（旧薩摩藩邸跡、5,805.7 坪）
1877	10	同志社分校女紅場（同志社女学校・同志社女子大学の前身）を開設
1885	18	同志社アルムニ（Alumni）会創立（同志社校友会の前身、校友 79 名、出席 22 名）、理事委員海老名弾正他 4 名
1887	20	同志社病院・京都看病婦学校開院・開校
1888	21	「同志社大学設立の旨意」を発表
1890	23	新島襄永眠、同志社校友会創立（卒業生総数 168 名）、初代委員長に加藤勇次郎
		校友会が新島先生「紀年資本」募集を決定、全国 14 地区の募集委員を委嘱、ハリス理化学校開校
1891	24	政法学校開校（法学部と経済学部の前身）
1893	26	同志社女学校同窓会創立（創立総会出席 37 名）
1896	29	同志社尋常中学校（同志社中学校の前身）設立
1897	30	出町幼稚園（現・同志社幼稚園）開園、校友会機関誌「校友会報」創刊
		校友会規約改正で支部を置くことが規定され <b>東京支部が発足</b> 、同窓会東京部会が組織される（会員 21 名）
1901	34	同志社女学校専門学部設置
1904	37	専門学校令による神学校と専門学校を開校、政法学校廃校
1906	39	同志社病院・京都看病婦学校廃院・廃校、ハリス理化学校薬学科廃止
1907	40	校友会本部を校友が最も多い東京に移すことが総会で提案される
		東京支部が「同志社維持会」（本部・東京、2 年後に京都へ移転）を設立、12,665 円を集める
1908	41	同志社カレッジソングができる
1912	45	専門学校令による同志社大学（予科・神学部・政治経済部・英文科）・女学校専門学部開校
1915	大正 4	東京支部事務所：東京市麴町三年町 吉川邸（代表幹事：吉川潤一郎）
1920	9	大学令による同志社大学開校（総長・海老名弾正）、文学部（神学科、英文学科、1927 年に哲学科を増設）、法学部（政治学科、経済学科、1923 年に法律学科を増設）、大学院および予科を設ける
		専門学校令による大学を専門学校として再編成し、神学部、英語師範部、高等商業部（商学部の前身、1931 年に高等商業学校、1944 年に経済専門学校と改称）、政治経済部を置く
1922	11	校友会機関紙「同志社校友同窓会報」創刊
1926	15	新島会館開館
1932	昭和 7	東京支部事務所：東京市品川区大崎 安東邸（代表幹事：安東守男）、東京同志社倶楽部併設
1934	9	東京支部事務所：東京市銀座 8 丁目 民友社内
1935	10	同窓会館開館、新島襄終焉之地碑ができる（神奈川県大磯町）
1940	15	新島襄生誕之地碑ができる（学士会館）
1941	16	中学校令による中学校発足、東京支部事務所：東京市銀座 8 丁目 民友社内
1943	18	工業専門学校開校
1944	19	中学校令による高等女学校開校
1945	20	新学制により中学校、女子中学校発足
1947	22	新制大学開校、神・文・法・経済学部開設、高等学校・女子高等学校・商業高等学校（定時制）開設
1948	23	商学部と工学部を新設し大学は 6 学部となる、女子大学（学芸学部）開校
1949	24	新学友会発足、校友会機関紙「同志社タイムス」創刊
1950	25	大学院修士課程開設
1951	26	教養学部解散（1948 年 4 月発足）、同志社香里中学校・同高等学校を開校
1953	28	大学院博士課程開設、相撲部全国学生相撲選手権大会団体優勝
1954	29	大学短期大学部を発展的に解消、大学 2 部（4 年制）を設置
1955	30	東京支部事務所：東京都中央区銀座 4 丁目 5-1 聖書館ビル 4 階（学校法人同志社東京分室内）
1960	35	黒岩重吾「背徳のメス」で直木賞受賞
1963	38	大学会館別館開館、礼拝堂（チャペル）が重要文化財に指定される
		ラグビー部第 1 回日本選手権優勝
1964	39	大学紛争がピークを迎える
		映画「愛と死を見つめて」公開（主演：浜田光夫・吉永小百合、ハリス理化学館前でロケ）
1965	40	大学会館本館開館
1967	42	女子大学学芸学部改組、家政学部開設
1972	47	相撲部全国学生相撲選手権大会団体優勝
1973	48	大学新図書館開館（今出川）、江崎玲於奈ノーベル物理学賞受賞
1974	49	京都市電烏丸線廃止、相撲部全国学生相撲選手権大会団体優勝
1975	50	同志社創立 100 周年
1976	51	商業高等学校廃校、京都市電今出川線廃止
		道永宏モントリオールオリンピック・アーチェリーで銀メダル
1978	53	有明夏夫「大浪花諸人往来」で直木賞受賞、硬式野球部明治神宮大会初優勝
1979	54	彰栄館・ハリス理化学館・クラーク記念館・有終館が重要文化財に指定される
1980	55	同志社国際高等学校開校
1981	56	京都市営地下鉄烏丸線開業、ラグビー部大学選手権初優勝
1985	60	新島会館開館（建替）、ラグビー部大学選手権 3 連覇

1986	昭和 61	田辺校地（現・京田辺校地）開校、全学部第 1 部 1・2 年次生の授業開始、女子大学短期大学部開設
1988	63	同志社国際中学校開校
1989	平成元	京阪電車、三条－出町柳開業、関東地区名簿刊行（15,000 名収録、B5 判、400 頁、3,000 円）
1990	2	硬式野球部明治神宮大会優勝
		校友会東京支部機関紙「 <b>同志社東京ニュース</b> 」創刊、企業内校友クラブのある 35 社に送付して配布
1992	4	奥野史子バルセロナオリンピック・シンクロナイズドスイミングで銅メダル
		杉浦正則野球で銅メダル
1994	6	工学部を田辺校地に統合移転
1995	7	女子大学家政学部を生活科学部に名称変更
		東京支部事務所、東京都港区浜松町 1-1-10 須美ビル 2 階 徳弘事務所内に移転
1996	8	東京支部事務所、東京都中央区銀座 4 丁目 5-1 聖書館ビル 4 階（学校法人同志社東京分室内）に移転
		杉浦正則アトランタオリンピック・野球で銀メダル
		立花美哉シンクロナイズドスイミングで銅メダル
1997	9	大学昼夜開講制を実施、千宗室（15 代）文化勲章受章、東京支部「通信費及び運営・連絡協力費」設置
1998	10	東京支部事務所、東京都渋谷区宇田川町 19-5-101（学校法人同志社東京分室内）に移転
		東京支部第 1 回「春の集い」
2000	12	女子大学現代社会学部開設
		校友会ホームページ開設、東京校友会ホームページ「同志社ネット」開設
		立花美哉シドニーオリンピック・シンクロナイズドスイミングで銀メダル
2002	14	東京支部事務所、東京都中央区日本橋堀留町 1-2-10（株）アイテック内に移転
2003	15	女子大学短期大学部廃止
		東京支部名簿刊行（7,000 名収録、A4 判、164 頁、2,000 円）
2004	16	政策学部開設、専門職大学院（司法研究科、ビジネス研究科）開設、学友会が解散、学友団が発足
		黒木和雄「父と暮らせば」で山路ふみ子賞受賞、保阪正康菊池寛賞受賞
		立花美哉アテネオリンピック・シンクロナイズドスイミングで銀メダル
		宮本慎也野球で銅メダル
2005	17	文学部を文学部と社会学部に改組・再編、文化情報学部開設、女子大学薬学部開設
		東京支部事務所、東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル ディスカットに移転
2006	18	小学校開校、学研都市キャンパス開設
		東京支部の呼称を通称「同志社東京校友会」に変更
2008	20	生命医科学部・スポーツ健康科学部開設、工学部を理工学部に変更
		太田雄貴北京オリンピック・フェンシング個人で銀メダル、朝原宣治 4×100m リレーで銅メダル
		山本兼一「利休にたずねよ」で直木賞受賞
2009	21	心理学部開設、神学部・社会学部 1・2 年次教育を今出川校地へ、女子大学表象文化学部開設
		<b>「同志社東京校友会」が正式名称に</b>
2010	22	中学校・高等学校統合、多々羅キャンパス開設
2011	23	グローバル・コミュニケーション学部開設、国際学院初等部・国際学院国際部開校
		<b>「同志社東京ニュース」を「同志社東京ジャーナル」に改称</b>
2012	24	烏丸キャンパス開設、太田雄貴ロンドンオリンピック・フェンシング団体で銀メダル
2013	25	グローバル地域文化学部開設、キャンパス再編により全ての学年が一つの校地で学ぶ教学体制完成
		藤野可織「爪と目」で芥川賞受賞
2014	26	第 1 回校友会大懇親会「The 1st Grand Reunion」開催
		応援団チアリーダー部全日本学生チアリーディング選手権大会（応援団部門）3 連覇
2015	27	女子大学看護学部開設
		東京支部事務所、東京都千代田区内神田 3-22-7 大平ビル 6 階に移転、 <b>東京ジャーナル創刊 100 号</b>

【参考資料】「同志社百年史」（1979 年）、「同志社校友会便覧」（1907 年）、関東地区校友名簿（1989 年）  
同志社東京ニュース（1990 年創刊号～2011 年 83 号）、同志社東京ジャーナル（2011 年 84 号～2015 年 100 号）  
学校法人同志社及び諸学校ホームページ、同志社校友会ホームページ、同志社東京校友会ホームページ 他  
【作成】新田博伸 【協力】同志社社史資料センター

校友会東京支部・東京校友会 歴代代表者							
1898	明治 31 40	支部代表	丹羽清次郎	1965	昭和 40 50 61	支部長	田島弘一郎
1907		代表幹事	徳富猪一郎 (蘇峰)	1975		//	津下統一郎
1915		大正 4	//	吉川潤一郎		1986	//
1934	昭和 9 10 18	//	安東守男	1995	平成 8 10 14	//	太田文雄
1935		//	三宅驥一	1998		//	西村四郎
1943		支部長兼代表幹事	秦孝治郎	2002		// (2001 年支部長代行)	堀内陽二
1950	25		田島弘一郎 高島吉郎 平山秀雄 一木実也	2005	17	//	雲川俊夫
1955	30	支部長	菅 琴二	2007	19	支部長→会長 (2009 年)	木村昌平
1958	33	//	峰岸次郎 原田 健	2011	23	会長	児玉正之

【参考資料】関東地区校友名簿（1989 年）、同志社東京ニュース（1990 年創刊号～2011 年 83 号）  
同志社東京ジャーナル（2011 年 84 号～2015 年 100 号） 【作成】新田博伸



同志社東京ニュース・東京ジャーナル 100 号のあゆみ

【作成】新田博伸

号	発行年月日			頁	主 要 記 事
1	1990	平成 2	2月22日	4	発行の辞（徳弘勢也支部長）、フェンシング部優勝祝勝会、二九会、編集人 西村四郎
2			5月1日	4	平成2年総会・合同懇親会、新島襄素描、キャンパスからの便り、同窓会東京支部
3			8月1日	4	平成2年同窓会東京支部総会、新島襄先生永眠百周年記念講演会と親睦会のタベ、俳画
4			11月20日	4	今シーズンの同志社ラグビー、新島襄素描、マンドリンクラブ東京公演、東京若手会
5	1991	平成 3	2月13日	4	野球部日本一!!、平成2年度イヴ講演会・懇親会、TOKYO OG、東京37会発足
6			5月1日	4	平成3年総会・合同懇親会、大磯碑前祭、キャンパスからの便り、フライヤー・クラブ
7			8月1日	4	平成2年度同窓会東京支部総会、二九会、三一会、E S S東京遠征、東京クローバークラブ
8			11月1日	4	常任理事・理事・幹事合同会議、新島襄先生終焉の碑、文学部会、東京同風会(S23卒の会)
9	1992	平成 4	2月15日	4	平成3年度イヴ講演会・懇親会、昭和29年東京同期生会、新島襄帰宅記念祭、関東36会
10			5月1日	4	平成4年度支部総会・懇親会、大磯碑前祭、日本拳法部、キャンパスからの便り、東京37会
11			8月1日	4	平成4年度同窓会支部総会、京都のかくれ寺、E S S・ディスカッションセッションOB会
12			11月1日	4	平成4年度常任理事・理事・幹事合同会議、神奈川支部活動報告、東京31会、茶道部茶会
13	1993	平成 5	2月10日	6	新島襄生誕150年記念講演会・懇親会、新島先生と鎌倉の海浜院、東京支部5年間のあゆみ
14			5月1日	4	新島襄生誕150年記念会・平成5年度支部総会、東京31会・女子大学同期会合同懇親会
15			8月1日	4	生誕150年記念「新島襄の生涯」展、同窓会支部総会、小津の間法使い（藤木 悠）
16			11月1日	6	松山総長三選就任記念講演会・祝賀会、常任理事・理事・幹事合同会議、群馬県支部報告
17	1994	平成 6	2月23日	6	平成5年度イヴ講演会・懇親会、松山総長三選記念講演、ゴルフクローバー会再開
18			5月1日	6	平成6年総会・合同懇親会、金野滋氏叙勲祝賀会、アメリカツアー報告
19			8月1日	4	平成6年度同窓会支部総会、岡仁詩教授「同志社ラグビー」講演会、東京支部新役員紹介
20			11月1日	4	常任理事・理事・幹事合同会議、東京ニュース創刊20号を迎えて、キャンパスからの便り
21	1995	平成 7	2月21日	4	イヴ講演会・懇親会、新島襄足跡ツアー、東京新島講座、埼玉県支部・神奈川県支部総会
22			5月1日	4	平成7年度合同懇親会、新島学園に「良心の碑」建立、阪神大震災チャリティーコンサート
23			8月1日	4	平成7年度同窓会支部総会、チャック・ウィルソンさん講演会、各界で大活躍の同志社OB
24			11月1日	4	東京支部の会則改正を検討～常任理事・理事・幹事合同会議、新島先生足跡ツアー
25	1996	平成 8	2月20日	4	感動の友情が導くメサイア、相撲界に旋風を巻き起こす男～土佐ノ海、神奈川合同総会
26			5月1日	4	支部会則を改正、新支部長・役員を選出～総会・合同懇親会、太田新支部長挨拶
27			8月1日	6	平成7年度同窓会支部総会・懇親会、グループ制新組織を決定、伊勢ノ海部屋千秋楽のタベ
28			12月	4	2色印刷・横書き・左開きに変更、支部活動、トピックス、編集人中出外史朗、編集後記
29	1997	平成 9	6月	4	支部総会・懇親会、新副支部長選任、同志社東京自由懇話会、大磯碑前祭、大学院教育
30			10月	4	「通信費及び運営・連絡費」設置（年2,500円）、50回目を迎えた洛紫DDT会、お店紹介
31	1998	平成 10	2月	4	'98同志社東京・春の集い告知、同期会やサークルが発活に活動、伊勢ノ海部屋祝賀会
32			5月	4	同志社東京・春の集い、懇親会の自主講座、八田新学長が就任、東京講座開講
33			8月	4	西村四郎新支部長就任挨拶、東京支部事務局渋谷へ移転、放送アドクラブ、政法会支部発足
34			11月	4	大碇関に化粧廻し贈呈、関東各支部総会盛況、千葉支部設立、東京クローバークラブ演奏会
35	1999	平成 11	2月	4	総会・評議員会迫る、各サークル発活に活動を展開、'98リユニオン、編集人 渡邊浩志
36			5月	4	'99同志社東京・春の集い、30会・33会誕生、31会・37会総会、東京講座受講生募集
37			8月	4	応援団関東OB会発足、政法会東京支部総会、二九会・30会総会、今出川キャンパスツアー
38			11月	4	東京新島講座公開講演会、群馬県支部・千葉支部・神奈川支部総会、放送アドクラブ懇親会
39	2000	平成 12	2月	4	2000同志社東京・春の集い近づく、埼玉県支部総会、新島襄終焉碑前祭、生誕碑前祭
40			5月	4	2000同志社東京・春の集いに500名参加、タイムファイブ芸術選奨文部大臣賞受賞
41			8月	4	安中・伊香保ツアーへのお誘い、東京支部ホームページ開設、クローバークラブコンサート
42			11月	4	同志社東京エグゼクティブの集い、安中・伊香保ツアー、ホームカミングデー
43	2001	平成 13	2月	4	2001同志社東京・春の集い告知、新島襄先生永眠111周年碑前祭、二七会270回目の集い
44			5月	4	2001同志社東京・春の集い、土井たか子議員講演、早稲田とのエール交換
45			9月	4	堀内陽二支部長代行就任、E S S東京OB・OG会、山岳会エベレストへの挑戦
46			11月	4	評議員任期満了 改選迫る、秋期講座開催、D・C・グリーン宣教師墓前礼拝、千葉支部総会
47	2002	平成 14	3月	6	堀内陽二支部長選出、新島襄終焉の地碑前祭、生誕碑前祭、東京エグゼクティブの集い
48			6月	6	2002同志社東京・春の集い、同志社校友会首都圏協議会発足、東京歩こう会発足
49			9月	6	①活動拠点の確保、②財政基盤の確立、③「出会いの場」づくり、④情報発信の促進が急務
50			12月	6	東京エグゼクティブの集い、事務局が日本橋へ移転、50号特別企画「これからの同志社大学」

号	発行年月日			頁	主 要 記 事
51	2003	平成 15	3月	8	平成15年評議員会・総会、伊勢ノ海部屋千秋楽打ち上げ会、同経会東京の集いスタート
52			6月	6	2003同志社東京・春の集い、アーモスト大学合唱団来日歓迎会、ホームページリニューアル
53			9月	8	東京支部名簿づくり進む、若手座談会「同志社で学んだこと、校友会について」
54			12月	8	同志社東京エグゼクティブの集い、東京支部名簿刊行、通信協力会員1,000名に到達
55	2004	平成 16	3月	8	2004同志社東京・春の集い告知、春の集いに寄せて、平成16年評議員会・総会、埼玉支部総会
56			6月	8	2004同志社東京・春の集い、39会・40会スタート、信用格付評価〈AA+〉を獲得
57			9月	8	東京若手会・同志社香里同窓会東京支部設立、東京リエゾン(産官学連携活動)オフィス開設
58			12月	8	同志社東京エグゼクティブの集い、同志社ワイン登場、谷口徹ゴルフ・日本オープン優勝
59	2005	平成 17	3月	8	新体制発足、雲川俊夫支部長就任、理事の呼称を幹事に、常任幹事会を新設
60			6月	8	2005同志社東京・春の集い、首都圏若手会に116名、34会・41会・42会誕生、小林事務局長退任
61			9月	8	同志社東京・古希と喜寿の集い、春の集い一等賞「サッポログルメ旅行記」、新島研究会発足
62			12月	8	東京エグゼクティブの集い、千葉支部総会、すみれ亭句会、関西4大学学長フォーラム
63	2006	平成 18	3月	8	雲川体制2年目スタート、41会発足、R・Eクローバー倶楽部発足、新作能「庭上梅」初演
64			6月	8	2006同志社東京・初夏の集い、藤木悠君を偲ぶ会、同志社ラグビーだより、東京新島研究会
65			10月	8	同志社東京・古希と喜寿の集い、海老名弾正祭、司法試験合格者大学別ランキング8位
66			12月	8	東京エグゼクティブの集い、スポーツユニオン関東支部総会、東京弓友会京大と懇親射会
67	2007	平成 19	3月	8	木村昌平支部長就任、アメリカンフットボール部OB会、茶道部OB・OG会
68			6月	10	2007同志社東京・春の集い、同志社東京音頭、特別協力会員・評議員・幹事名簿
69			9月	8	同志社大学東京フォーラム告知、46会・48会結成、ホームカミングデー、「庭上梅」東京公演
70			12月	8	特色刷色変更、同志社大学東京フォーラム告知、32会・45会・47会発足
71	2008	平成 20	3月	8	縦書き・右開き・表裏表紙4色刷りに変更、同志社大学東京フォーラム、編集人 編集委員会
72			6月	8	2008同志社東京・春の集い、サークル・年次会だより、早稲田と同志社展、新島襄の言葉
73			9月	8	東京エグゼクティブの集い・東京フォーラム近づく、校友の北京オリンピック
74			12月	8	東京エグゼクティブの集い、新島研究会アメリカ紀行、同志社ゆかりの地を訪ねて
75	2009	平成 21	3月	8	木村昌平会長再任、同志社大学東京フォーラム、終焉之地・生誕之地碑前祭、平成の声
76			6月	8	2009同志社東京・春の集い、神奈川支部「新島襄と日本の近代化・横浜開港」開催
77			9月	8	イエール・同志社交流会、50年会・53年会デビュー、洛紫会・ビジネス交流会、校友の店
78			12月	8	東京エグゼクティブの集い、支部だより、さまざまな秋、新島襄の足跡を訪ねて
79	2010	平成 22	3月	8	平成21年度総会・重点施策、映画研究会「映像で綴る同志社の昭和史」DVD化
80			6月	8	2010同志社東京・春の集い、年次会・総会花盛り、硬式野球部13季ぶり23回目のリーグ戦優勝
			6月号外	2	単色刷り、全日本大学野球選手権大会・硬式野球部・堂々のベストエイトに、祝勝会・激励会
81			9月	8	同志社キャンパスフェスタ告知、同志社スポーツ「春の総括」、座談会「同志社に期待する」
82	2011	平成 23	12月	8	同志社キャンパスフェスタ東京、総会だより、年次会・サークルだより、同志社多士済々
83			3月	8	児玉正之会長就任、東京エグゼクティブの集い、創立135周年記念・大谷総長特別講演会
84			6月	8	東京ジャーナルに名称変更、東日本大震災募金報告、紙面刷新特集、編集人 藤田昇良
85			9月	8	同志社キャンパスフェスタ東京とは、2013年の大河ドラマに「八重の桜」、同志社 WALKER
86	2012	平成 24	12月	12	特別協力会員・秋の集い、東日本被災地出身在校生募金、同志社キャンパスフェスタ東京
87			3月	12	評議員会・総会、新連載「片桐家同志社五代記」、初夏の集い告知、土佐ノ海引退大相撲
88			7月	12	同志社東京・初夏の集い、同志社スポーツ・ロンドン五輪特集、宮本慎也選手2,000本安打
89			10月	12	誌面刷新・中綴じ・建物を表紙に、特別協力会員の集い告知、ロンドン五輪の健闘を讃える会
90	2013	平成 25	1月	16	新年ご挨拶、チアリーディング3冠達成、茨城県支部・山梨県支部設立、ぶらり探訪総集編
91			4月	16	総長・学長より東京校友会の皆様へ、新連載「今出川四季」、2013年度活動計画、八重の桜
92			7月	12	2013同志社東京・春の集い、北濃登美男代表幹事日本300名山完登、第百回東京二九会
93			10月	12	水谷誠新理事長挨拶、東京クロストーク、全日本フェンシング選手権大会個人の部優勝
94	2014	平成 26	1月	16	新年ご挨拶、特別協力会員の集い、支部活動(学部・県支部)、大懇親会告知
95			4月	12	総会・評議員会、第1回校友会大懇親会、同早定期野球戦復活、編集人代行 片桐 陽
96			7月	12	2014同志社東京・春の集い、同志社大学東京オフィス開所式、編集人 片桐 陽
97			10月	12	幹事会・評議員会、東京クロストーク、同志社大学東京オフィス紹介、49会・52会発足
98	2015	平成 27	1月	16	新年ご挨拶、支部活動、大懇親会、ホームカミングデー、特別協力会員の集い、産官学連携オフィス
99			4月	12	総会・評議員会、新ビジネスフォーラム、新島襄ゆかりの地レポート、洛紫会女子部発足
100			7月	12	誌面刷新・ゆかりの地を表紙に、2015同志社東京・春の集い、神田祭りと錦三・七五三太公園



校友紹介・校友訪問

同志社東京ニュースと東京ジャーナルに掲載された記事を一覧表にまとめてみました

号	発行年月			記事	校友氏名	卒業年学部	プロフィール（記事掲載時）
1	1990	平成 2	2 月	私の学生時代	津下統一郎	大 15 経	元支部長、元キリスト教奉仕団理事長
2			5 月				
3			8 月				
4			11 月				
5	1991	平成 3	2 月	〃	徳弘勢也	昭 21 経	支部長、元千代田化工建設副社長
6			5 月				
7			8 月				
8			11 月				
9	1992	平成 4	2 月	追悼	松村博一	昭 22 経	東洋ビージーエム取締役相談役、元社長
10			5 月				
11			8 月				
12			11 月				
13	1993	平成 5	2 月	役員紹介	平山秀雄	昭 12 高商	副支部長、元学校法人同志社東京分室室長
14			5 月				
15			8 月				
16			11 月				
17	1994	平成 6	2 月	〃	小出力三郎	昭 17 法	副支部長、東京全日空ホテル専務、元帝国ホテル常務
18			5 月				
19			8 月				
20			11 日				
21	1995	平成 7	2 月	校友紹介	河合佐一郎	昭 28 文	旧姓 大野、東京彰栄会世話人、元ユニチカ役員
22			5 月				
23			8 月				
24			11 月				
25	1996	平成 8	2 月	同窓紹介	森本潤子	昭 38 女英	旧姓 大野、東京彰栄会世話人、元ユニチカ役員
26			5 月				
27			8 月				
28			11 月				
29	1997	平成 9	2 月	会員紹介	木津 徹	昭 52 文	月刊雑誌「世界の艦船」編集長
30			5 月				
31			8 月				
32			11 日				
33	1998	平成 10	2 月	追悼	中村忠三	昭 27 法	弁護士、元帝人取締役
34			5 月				
35			8 月				
36			11 月				
37	1999	平成 11	2 月	〃	若柳 庸	女学芸	本名 外池庸子、若柳庸日本舞踊研究所代表
38			5 月				
39			8 月				
40			11 月				
41	2000	平成 12	2 月	校友紹介	松井 隆	昭 55 文	リクルート「ガテン」事業部部长
42			5 月				
43			8 月				
44			11 月				
45	2001	平成 13	2 月	〃	本田正明	昭 30 経	常任理事、名簿委員長、芸艸堂代表取締役
46			5 月				
47			8 月				
48			11 月				
49	2002	平成 14	2 月	〃	太田文雄	昭 21 経専	副支部長、東芝常任顧問・元副社長
50			5 月				
51			8 月				
52			11 月				
53	2003	平成 15	2 月	校友紹介	八木政三	昭 20 法	副支部長、元千代田化工建設常務取締役
54			5 月				
55			8 月				
56			11 日				
57	2004	平成 16	2 月	〃	西村四郎	昭 23 経	副支部長、サクラクレパス取締役相談役・元副社長
58			5 月				
59			8 月				
60			11 月				
61	1996	平成 8	2 月	校友紹介	中分 亨	昭 28 経	元東洋メディアリングス社長
62			5 月				
63			8 月				
64			11 月				
65	1997	平成 9	2 月	新支部長紹介	中原利明	昭 55 法	三菱銀行総務部法務室
66			5 月				
67			8 月				
68			11 月				
69	2000	平成 12	2 月	〃	太田文雄	昭 21 経専	支部長、(財)産業廃棄物処理事業振興財団理事長
70			5 月				
71			8 月				
72			11 月				
73	1998	平成 10	2 月	〃	立石信雄	昭 34 文	オムロン代表取締役会長
74			5 月				
75			8 月				
76			11 月				
77	1999	平成 11	2 月	〃	金野 滋	昭 22 法	(財)日本ラグビーフットボール協会会長
78			5 月				
79			8 月				
80			11 月				
81	2000	平成 12	2 月	〃	津下統一郎	大 15 経	元支部長、元キリスト教奉仕団理事長
82			5 月				
83			8 月				
84			11 月				
85	2001	平成 13	2 月	〃	尾野 博	昭 38 経	マンパワー・ジャパン代表取締役社長
86			5 月				
87			8 月				
88			11 月				
89	2002	平成 14	2 月	〃	嶋 雅二	昭 32 経	ホーネンコーポレーション代表取締役社長
90			5 月				
91			8 月				
92			11 月				
93	2003	平成 15	2 月	〃	堀内陽二	昭 30 経	堀内カラー代表取締役会長
94			5 月				
95			8 月				
96			11 月				
97	2004	平成 16	2 月	〃	富本善久	昭 37 商	日水製薬代表取締役社長
98			5 月				
99			8 月				
100			11 月				

【作成】新田博伸

号	発行年月			記事	校友氏名	卒業年学部	プロフィール（記事掲載時）			
56	2004	平成 16	6 月	O B 訪問	村井宗明	平 9 法	衆議院議員（民主党）			
57			9 月		小川彩子	昭 35 女学芸	名付け親は徳富蘇峰、還暦で教育博士号を取得			
57			12 月		黒木和雄	昭 29 法	映画監督「とべない沈黙」「キューパの恋人」「竜馬暗殺」			
58					今村純二	昭 36 商	北海道日本ハムファイターズ社長			
58	2005	平成 17	3 月	話題の校友	松本信彦	昭 63 商	ベンチャー・リンク代表取締役社長（中小企業支援事業）			
59			3 月		本田正明	昭 30 経	東京都功労者賞受賞、芸艸堂代表取締役			
59			6 月		森岡正宏	昭 41 経	厚生労働大臣政務官、衆議院議員（自由民主党）			
60			6 月		来代勝彦	昭 44 法	東京都議会議員選挙立候補者、港区区議会議員 6 期			
60			〃	〃	関口太一	平 11 法	〃 世田谷区議会議員（最年少）			
60			O B 訪問		宮崎 豊	昭 54 商	テストー代表取締役社長、元キーエンス			
61			9 月		追悼	中川靖雄	昭 36 工	2003 年同志社東京・春の集い実行委員長		
61			O B 訪問		知識賢治	昭 60 法	カネボウ化粧品取締役兼代表執行役社長・最高執行責任者			
62			12 月	追悼	伊藤義清	昭 33 院神	牧師、「春の集い」をはじめ諸行事で祈祷			
62			O B 訪問		石村繁一	昭 51 工	ナムコ代表取締役社長兼経営戦略本部長			
63			2006		平成 18	3 月	〃	吹田明日香	昭 63 文	キャスター、リポーター、NHK「生活ほっとモーニング」
64						6 月	追悼	藤木 悠	昭 29 文	俳優、出演映画 115 本、「Gメン'75」など TV 出演も多数
64	O B 訪問	播島幹長		昭 33 経		燦ホールディングス（公益社）代表取締役会長				
65	10 月	〃		木村政雄		昭 44 文	フリープロデューサー、元吉本興業常務取締役			
66			12 月	〃	小川和久	昭 44 神	軍事アナリスト、元「週刊現代」記者			
67			2007	平成 19	3 月	〃	辻本秀幸	昭 61 工	マクロミル代表取締役社長、元リクルート	
68					6 月	〃	小貴岩夫	平 4 神	テノール歌手、文部大臣奨励賞受賞、グリークラブ O B	
69					9 月	〃	吉田雅紀	昭 51 商	あきない総合研究所代表取締役	
70	12 月	〃			福本武久	昭 40 法	作家、「電車ごっこ停戦」で太宰治賞、「新島襄とその妻」			
71	2008	平成 20	3 月	校友訪問	吉川沙織	平 11 文	参議院議員（民主党）			
72			6 月	〃	小島 弘	昭 40 経	阪急阪神交通社ホールディングス代表取締役社長			
73			9 月	〃	野坂弦司	昭 34 経	日本システムバンク取締役会長（コインパーキング業）			
74			12 月	〃	山田厚史	昭 46 法	朝日新聞社シニアライター、元朝日新聞編集委員			
75	2009	平成 21	3 月	校友の話題	西村二郎	昭 23 経	元支部長、同志社社史資料センター功績賞受賞			
76			6 月	校友訪問	宇都宮優子	昭 54 法	高島屋執行役員横浜店長、法学研究会 O G			
77			9 月	話題の校友	来代勝彦	昭 44 法	東京都議会議員（自由民主党）、港区区議会議員 6 期			
77			〃	〃	関口太一	平 11 法	〃 （民主党）			
77			校友訪問	井坂 紘	昭 39 経	レコード・プロデューサー、カメラ・トリック代表取締役会長				
78			12 月	2010	平成 22	3 月	校友訪問	魚谷雅彦	昭 52 文	日本コカ・コーラ代表取締役会長
79			6 月			〃	田島一成	平 12 院総政	環境副大臣、衆議院議員（民主党）	
80			9 月			〃	月森砂名	昭 58 文	フォトグラファー、作家、プロデューサー	
81	12 月	〃	石田芳弘			昭 44 商	衆議院議員（民主党）、元愛知県犬山市長			
82	2011	平成 23	3 月	校友訪問	宮本慎也	平 5 商	プロ野球選手、ヤクルトスワローズ、			
84			6 月		新卒会員紹介	廣野華奈子	平 23 商	サントリーフーズ勤務、應援団チアリーダー部 O G		
84			9 月		校友訪問	支倉 清	昭 48 法	慶長遣欧使節団・支倉常長の末裔、不動産管理会社経営		
85			12 月		新卒会員紹介	小山田貴幸	平 23 法	伊藤忠商事勤務、「ミスキャンパス同志社」創設・開催		
86			校友訪問	立川親方	平 6 商	元関脇・土佐ノ海（幕内通算 80 場所・歴代 8 位）、相撲部 O B				
86			新卒会員紹介	刑部敬太	平 23 文	日立工機勤務、元体育会委員長、ハンドボール部 O B				
87			2012	平成 24	3 月	校友訪問	片桐 陽	昭 42 工	元パイオニア・聖歌隊 O B、大叔父は元同志社女子大学学長	
88					7 月	〃	牧野 靖	昭 31 商	元ホテルオークラ専務取締役、アメリカフットボール部 O B	
89	10 月	〃			青木重之	昭 53 経	前キリン・トロピカーナ社長、東京 53 会会長			
90	2013	平成 25			1 月	〃	寒河江 正	昭 32 文	テレビ神奈川エンタープライズ・プロデューサー	
91			4 月	〃	河本宏子	昭 54 文	全日本空輸上席執行役員、元キャビンアテンダント			
92			7 月	〃	佐々木實穂子	昭 41 文	画家、旺玄展で文部科学大臣賞受賞			
93			10 月	〃	藤田 薫	昭 47 文	ケイ・グローバルコンサルタント代表取締役社長			
94	2014	平成 26	1 月	〃	山下春子	昭 55 経	大東文化大学経済学部教授、ツナ缶コレクター			
95			4 月	〃	島田久仁彦	平 10 法	国際ネゴシエーター、環境省参与			
96			7 月	〃	魚谷雅彦	昭 52 文	資生堂代表取締役執行役員社長、元日本コカ・コーラ社長			
97			10 月	〃	福田三千男	昭 44 商	アダストリアホールディングス代表取締役会長（アパレル）			
98	2015	平成 27	1 月	〃	植野伸一	昭 51 商	アサツーディ・ケイ代表取締役社長（広告業）			
99			4 月	〃	栗田千寿	平 9 商	陸上自衛隊二等陸佐、NATO 事務総長特別代表アドバイザー			
99			追悼	土井たか子	昭 31 院法	衆議院議員、日本社会党委員長、衆議院議長などを歴任				
100			7 月	校友訪問	結城哲彦	昭 33 法	元代表幹事、法学博士（早稲田大学）、元インターコンチネンタルホテル社長			



同志社東京校友会 懇親会と春の集い

開催年月日	名 称	テーマ・主な講演・ゲスト	会 場
1975 昭和 50 10月 30日(木)	総会・合同懇親会	同志社創立百周年記念	新橋第一ホテル
1976 51 11月 5日(金)	合同懇親会		帝国ホテル
1977 52 11月 12日(土)			
1978 53 11月 7日(火)			
1979 54 11月 20日(火)			
1980 55 11月 15日(土)			
1981 56 11月 13日(金)			
1982 57 11月 16日(火)			
1983 58 11月 30日(水)			
1984 59 11月 15日(木)			
1985 60 11月 14日(木)	総会・合同懇親会		銀座東武ホテル
1986 61 11月 8日(土)	合同懇親会		
1987 62 11月 11日(水)	総会・合同懇親会		
1988 63 12月 14日(水)		【昭和天皇体調悪化による自粛ムードのため延期】	
1989 平成元 2月 15日(水)			
1990 2 2月 22日(木)		大野エリ（ジャズ・ボーカリスト）	
1991 3 2月 13日(水)		宇野裕子（サザエさんテーマソング歌手）	
1992 4 2月 18日(火)			
1993 5 2月 12日(金)		新島襄生誕百五十周年記念 江崎玲於奈（ノーベル物理学賞受賞者）	学士会館
1994 6 2月 23日(水)	総会・懇親会 春の集い	（6月講演会）岡仁詩（ラグビー部長）	ホテルオークラ
1995 7 2月 21日(火)		（6月講演会）チャック・ウィルソン	ホテルインター コンチネンタル 東京ベイ ホテルオークラ
1996 8 2月 20日(火)		土佐ノ海	
1997 9 2月 23日(日)			
1998 10 3月 29日(日)		海と緑、そして光と共に 山田厚史（朝日新聞編集委員）、小川和久	
1999 11 4月 17日(土)		まばゆい光を前に 佐藤優（外務省国際情報局）	
2000 12 4月 15日(土)		春爛漫 ミレニアム礼賛 同志社満開 江崎玲於奈（ノーベル物理学賞受賞者）	恵比寿ガーデン プレイス
2001 13 4月 21日(土)		新世紀元年ー共生、そして、共鳴ー 土井たか子（衆議院議員）	リーガロイヤル ホテル早稲田
2002 14 4月 27日(土)		融和と協調、そして共歩 小川和久（国際政治・軍事アナリスト）	経団連会館
2003 15 5月 24日(土)	初夏の集い 春の集い	混迷の時代を切り開く同志社スピリット 八田英二学長、タイムファイブ	東京會館
2004 16 5月 22日(土)		共に確かな未来へ 保阪正康（ノンフィクション作家）	
2005 17 5月 21日(土)		今こそ共に、再び良心を前身に充滿（チャージ）しよう 中西哲生（スポーツジャーナリスト）	
2006 18 6月 3日(土)		櫻井よしこ（ジャーナリスト）	
2007 19 5月 12日(土)		万紫千紅 共助・共栄 田原総一朗（ジャーナリスト・評論家）	
2008 20 5月 17日(土)		星野仙一（野球五輪日本代表監督）	
2009 21 5月 16日(土)		今こそ、同志社の原点～良心～が生きる季 鹿野嘉昭（同志社大学経済学部長）	
2010 22 5月 16日(日)		さらなる絆・新たなる縁（えにし） 村田晃嗣（同志社大学法学部教授）	
2011 23 5月 21日(土)		【東日本大震災のため中止】 内藤正典（同志社大学大学院教授）	
2012 24 6月 17日(日)	春の集い	同志社ルネッサンス 未来を拓く同志社精神の復興 内藤正典、内藤慎介（NHK プロデューサー）	ロイヤルパーク ホテル
2013 25 5月 19日(日)		輝ける未来へ羽ばたけ 同志社精神 ハンサムカップル～襄と八重 福本武久（作家）、大八木淳史（ラグビー元日本代表）	
2014 26 5月 25日(日)		「同志社グローバリズム」 一国の良心、世界の“RYOSHIN” 村田晃嗣学長、宮本慎也（野球解説者）	
2015 27 5月 24日(日)		DOSHISHA ON MY MIND ー我が心の同志社ー 中村うさぎ（作家）、有栖川有栖（作家）	

（注）合同懇親会＝校友会と同窓会の合同懇親会 【参考資料】関東地区校友名簿（1989年）、同志社東京ニュース（1990年創刊号～2011年83号）  
同志社東京ジャーナル（2011年84号～2015年100号）、同志社東京校友会ホームページ 【作成】新田博伸

企業内校友クラブ（クローバー会）  
※「同志社OBが健闘する企業」等として紹介

号	発行年月日			名 称（記事掲載時）	会員数	記 事
1	1990	平成2	2月 2日	東芝クローバー会	247	社内のビッグ3（早・慶・明）に次ぐ規模
2			5月 1日	日興同志社会	314	1984年（昭和59年）に結成、6年目
3			8月 1日	朝日生命クローバー会	約110	社内のビッグ5（早・慶・明・中央・同）
4			11月20日	日立東京クローバー会	約250	出席者90名、昭和30年代より続いている
4	1991	平成3	〃	※ 伊藤忠商事	149	東京地区65名
5			2月13日	明治生命クローバー会	100超	関東地区約40名、関西地区約30名
6			5月 1日	トーメン東京クローバー会	132	社内では早・慶に次ぐNo.3
8			11月1日	※ 株式会社日本旅行	102	東京約20名
9	1992	平成4	2月15日	※ 住友スリーエム株式会社	51	関西の大学ではトップ
10			5月 1日	※ 鹿島株式会社	52	東京約19名
11			8月 1日	日本信託銀行クローバー会	41	8年ほど前に発足
11			〃	※（株）ホーネンコーポレーション	12	嶋社長がOB、旧社名 豊年製油株式会社
11	1993	平成5	〃	日興クローバー会	332	出席者約80名
12			11月 1日	安田生命クローバー会	100余	出席者32名、新入社員歓迎会と忘年会を実施
13			2月10日	※ 大王製紙株式会社	80	井上副社長がOB
14			5月 1日	日立東京クローバー会	300	参加者80余名
16	1994	平成6	11月 1日	東洋エンジニアリングクローバー会	15	15名のうち13名がエンジニア
16			〃	※ 千代田化工建設株式会社	24	徳弘東京支部長（元副社長）がOB
17			2月23日	※ 株式会社リクルート	132	社内では早・慶・神戸に次ぐNo.4
18			5月 1日	高島屋関東同志社会	40	社内では早・慶を遙かに超えてNo.1(332名)
19	1995	平成7	8月 1日	近畿日本ツーリスト	124	玉中副社長がOB
20			11月 1日	※ ナショナル証券	26	鈴木常務がOB、松下グループ
21			2月21日	第一勧業銀行クローバー会	129	参加者約50名、銀行OBも多数参加
22			5月 1日	※ 山一証券	155	首都圏約70名、東京クローバー会再開計画中
23	1996	平成8	8月 1日	日本電気株式会社（NEC）	240	クローバー会発足計画中
24			11月1日	日鐵商事東京クローバー会	45	東京本社20名、新日鐵グループの中核商社
27			8月 1日	※ 帝人株式会社	75	年1回OB会を開催
96			7月	損保ジャパン・日本興亜クローバー会	70超	9月1日合併、年2回開催、参加者約40名
97	2014	平成26	10月	武田薬品工業「武同会」		2011年発足、広報紙を発行
98			4月	J A全農同志社会		東京在住職員中心、参加者10名
100			7月	日立クローバー会		関東地区約350名、参加者67名

1995年（平成7年）2月2日 東京支部常任理事会と各企業連絡係との懇談会参加企業（14社）

東芝、日立、日本電気、明治生命、朝日生命、第一生命、安田生命、住友生命、大同生命、野村證券、大和証券、山一証券、三菱銀行、第一勧銀  
【作成】新田博伸





同志社創立  
140周年記念  
～ゆかりの地に集う～  
同志社フェア in 安中

同志社創立140周年記念として8月30日、31日に新島襄ゆかりの地、群馬県安中市で同志社フェアがとり行われました。

アメリカから帰国した新島襄は、帰国第一声をこの安中で放ち、キリスト教宣教活動と学校設立の夢の実現に向け行動を開始しました。そんな、新島襄ゆかりの地での同志社フェアには、全国から約300名の校友が新島学園礼拝堂に集いました。

第一部では村田学長の講演会が行われました。題目は、「バック・トゥ・ザ・フューチャー 2015」

1985年制作の映画が予測した未来の時代が今年の2015年。映画では車は空を飛んでいましたが、まだ空飛ぶ車はできていません。しかし、携帯電話は映画の中では想像すらされていません。

20年後、30年後の未来予測が難しいなら、いたずらに悲観的になる必要はないという話から、これからの同志社大学の話



ゆかりの地ツアー 新島旧宅

へ展開され、大変に楽しい講演会となりました。

第二部は新島学園聖歌隊によるコーラスとベル演奏に続き、同志社グリーククラブによるコンサートが催されました。その後は、会場を並木苑に移して、交流レセプションが盛大に行われました。

31日は、時々小雨の降る曇天でしたが、新島襄ゆかりの地ツアー（まち歩き）が行われました。参加者は、新島襄と安中の深いつながりに改めて思いを馳せました。

文責／作村満明（昭52年・法）  
写真／新田博伸（昭52年・法）

編◆集◆後◆記

前号でもお知らせした通り、101号は「創刊100号突破記念特大号」として発行します。児玉会長の発案で、101号は、大学・東京校友会の140年の歴史を見直す内容に特化しました。また、年表その他の資料も盛り込み、24ページの永久保存版として編集しました。

平成22年2月22日に西村四郎初代編集長のもと東京ニュースが創刊されて以来、途中から東京ジャーナルと名称は変えたものの、実に25年間の歴史を刻んで来しました。四半世紀にわたり発行し続けられたのは、それに携わる多くの編集担当者は勿論のこと、情報を提供頂いた皆様、また原稿を書いて頂いた校友の方々など多くの皆さんのご協力があったからこそと、心から感謝する次第です。

101号は、このような歴史をそれに携わられた多くの方々を代表し、元支部長をはじめ数人の方々に思い出、エピソードなどの原稿を頂きました。

また、まだまだ大変お元気な小出元副支部長、西村初代編集長には「直撃インタビュー」をお願いし大いに語って頂きましたが、誌面の関係でその全てを



ご披露出来ませんでした。関東・甲信の8支部はじめ各種団体からは誕生秘話や、独自性・特徴、東京校友会への要望などをお聞きました。

東京ニュース創刊当初は、まだ年次会よりも企業内交友クラブが活発に活動していた時期でした。今回、企業内校友クラブ数社を取り上げアンケートをお願いしましたが、今後も企業内校友クラブを積極的に取り上げていきたいと思っています。

年表、資料に関しては、新田常任幹事に多大なる努力をおかけしましたが、永久保存版として良き資料が出来たと思います。東京ジャーナルは、校友の皆様のご協力ご支援が必要です。今後とも宜しくお願い致します。

文責／片桐陽（昭42年・工）

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

2015.October. NO.101 同志社東京校友会

〒101-0047 東京都千代田区千代田 3-22-7 大平ビル6階

電話：03-5579-9728

FAX：03-5579-9729

発行人／児玉正之

編集人／片桐陽

印刷／株式会社スバルグラフィック

デザイン／アド・リッツ株式会社 久保まどか

http://www.doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ  
ログイン情報

ID=doshisha  
PASS=1875

IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します！

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供  
広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う  
深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制



明光電子 株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル

FAX: 045-471-2377

E-mail: info@meicodenshi.com

045-471-2223

明光電子 |

検索

代表取締役 十川 正明

(昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)